

ソフトウェア・シンポジウム 2013

～岐路に立つ日本のソフトウェア作り～

場所：長良川国際会議場
主催：ソフトウェア技術者協会



7/8 (月曜日)	7/9 (火曜日)	7/10 (水曜日)
7/7 (日曜日) [国際会議室] 併設イベント	9:00 ~ 10:20 [大会議室] 論文・報告セッション1 「テスト1」	9:00 ~ 11:50 [各会議室] ※2 ワーキンググループ セッション2
	10:40 ~ 12:00 [大会議室] 論文・報告セッション2 「要件定義と計画」	
12:00 ~ 13:00 受付 [大会議室 付近]		
13:00 ~ 13:05 [大会議室] オープニング		
13:05 ~ 14:35 [大会議室] オープニングキーノート 「産学連携によるイノベーション人材の育成とソフトウェア技術者協会の役割」 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 高信頼組込みシステム教育研究センター長 落水 浩一郎氏	13:15 ~ 14:25 [大会議室] 招待講演 「岐阜から森林を考える」 岐阜大学 副学長 応用生物科学部 教授 小見山 章氏	13:10 ~ 14:30 [大会議室] ※4 各ワーキンググループ報告, 成果発表
14:50 ~ 15:50 [大会議室] ※1 各ワーキンググループの紹介, 課題提起, 所信表明	14:40 ~ 16:00 [大会議室] 論文・報告セッション3 「テスト2」	14:40 ~ 15:50 [大会議室] クロージングキーノート 「京による細胞シミュレータの開発 -超大規模イメージベースドモデリングの展開-」 理化学研究所 量子工学領域 画像情報処理研究チーム 横田 秀夫氏
		15:50 ~ 16:00 [大会議室] クロージング
16:15 ~ 18:25 [各会議室] ※2 ワーキンググループ セッション1	16:20 ~ 17:25 [大会議室] 論文・報告セッション4 「形式手法1」	
	17:45 ~ 18:50 [大会議室] 論文・報告セッション5 「形式手法2」	
18:25 ~ 19:00 移動 ※3		
19:00 ~ 20:30 [十八楼・葵の間] 情報交換会		

※1：発表時間は WG ごとに5分間です。

※2：上記の時間は会議室が利用できる時間帯を示しています。運営方法は WG ごとに異なります。詳細は各 WG のリーダまでお問い合わせください。

※3：情報交換会の会場へのご移動については、最終ページをご覧ください。

※4：発表時間は WG ごとに質疑応答を含めて7分間です。

※ 論文・報告セッションは、発表と質疑応答、議論あわせて、1件あたり16分間です。

論文・報告

◆ セッション1：「テスト1」

- [01_研究論文] 「テストケース距離空間に基づいたソフトウェア信頼性評価手法に関する考察」
竹腰 祐輝, 岡村 寛之, 土肥 正 (広島大学)
- [02_研究論文] 「0-1 計画モデルを用いたコードレビュー計画法の有効性に関する実証的考察」
井上 慎也, 阿萬 裕久 (愛媛大学)
- [03_経験論文] 「N-Switch カバレッジテストの問題点と解決策」
秋山 浩一 (富士ゼロックス)
- [04_経験論文] 「高信頼性組込みシステムの実機タイミング試験」
山内 直, 岩井 重陽 (セック)
- [05_経験論文] 「PBL 形式による組込みシステム教育事例 –プロセス適応による品質特性の実現–」
鈴木 正人 (北陸先端科学技術大学院大学)

◆ セッション2：「要件定義と計画」

- [22_経験論文] 「形式仕様記述手法を用いた FeliCa カード開発におけるテスト実施効率の考察」
中津川 泰正, 栗田 太郎 (ソニー), 荒木 啓二郎 (九州大学)
- [07_経験論文] 「ET ロボコンを対象とした D-Case 記述事例」
上野 肇 (富士ゼロックス), 松野 裕 (名古屋大学)
- [08_研究論文] 「Social BPM による要件定義の KPI ツリー共有システムでのコントロール」
宗平 順己 (オージス総研)
- [09_研究論文] 「種別ごとに要求獲得状況を観測するための分類ルールと解析ツール RCT の提案」
中谷 多哉子, 佐野 俊一, 岡野 道太郎 (筑波大学), 近藤 城史 (名古屋経営短期大学), 白銀 純子 (東京女子大学), 藤原 由希子 (日本電気), 妻木 俊彦 (国立情報学研究所)
- [10_研究論文] 「回帰木に基づいた工数見積りモデルにおける Moving Window 法の有効性について」
井上 雄太, 天寄 聡介 (岡山県立大学)

◆ セッション3：「テスト2」

- [11_経験論文] 「ブラックボックステストでのテストコード自動生成によるコンポーネントテスト工数の削減に関する取り組み」
稲垣 弘樹 (エヌ・ティ・ティ・データ)
- [12_研究論文] 「ソフトウェアの実装情報に基づく決定表を活用した論理検証手法」
植月 啓次 (フェリカネットワークス)
- [13_経験論文] 「拡張デシジョンテーブルを用いたテスト品質の改善策の報告」
清水 有樹, 田処 将司 (DTS)
- [14_研究論文] 「数理計画モデルに基づいた効果的なテスト選択手法の提案と実践」
小笠原 秀人, 佐々木 愛美 (東芝), 阿萬 裕久 (愛媛大学)
- [15_事例報告] 「プロセスアセスメント結果の現実的・効果的活用方法の提案」
安達 賢二 (HBA)

◆ セッション4：「形式手法1」

- [16_経験論文] 「VDM と USDM を組み合わせた仕様記述方法 –VDM による USDM 仕様記述の改善提案–」
宮本 陽子 (メタテクノ), 日下部 雄三 (富士通九州ネットワークテクノロジーズ), 石川 冬樹 (国立情報学研究所)
- [17_経験論文] 「平易化した形式仕様記述を用いたテストの実践と考察」
村山 純一, 共田 基泰, 岡島 和裕 (セック)
- [18_事例報告] 「エネルギー管理システムにおける VDM と Java ソースコード自動生成の適用事例」
植木 雅幸 (SCSK)
- [19_研究論文] 「ライブ UI プロトタイピングに向けたマルチ言語環境 SOMETHINGit」
小田 朋宏, 中小路 久美代 (SRA), 山本 恭裕 (東京工業大学)

◆ セッション5：「形式手法2」

- [20_研究論文] 「プロセス改善における形式手法の活用の検討」
日下部 茂, 大森 洋一, 荒木 啓二郎 (九州大学)
- [21_経験論文] 「形式手法活用ガイドとドメイン辞書管理ツールを用いた VDM 適用事例」
江藤 文治, 井上 康生, 山田 浩, 岩崎 孝司 (富士通九州ネットワークテクノロジーズ), 大森 洋一, 日下部 茂, 荒木 啓二郎 (九州大学)
- [06_事例報告] 「ディペンダビリティケースパターンの適用評価事例」
山本 修一郎 (名古屋大学)
- [23_経験論文] 「モバイル FeliCa IC チップ開発における形式仕様記述手法実践時の課題に対する施策とその効果」
田中 美穂 (DTS), 栗田 太郎, 中津川 泰正 (フェリカネットワークス)

情報交換会の会場へのご移動について

情報交換会の会場である「十八楼」に行くためにはバスに乗ります。

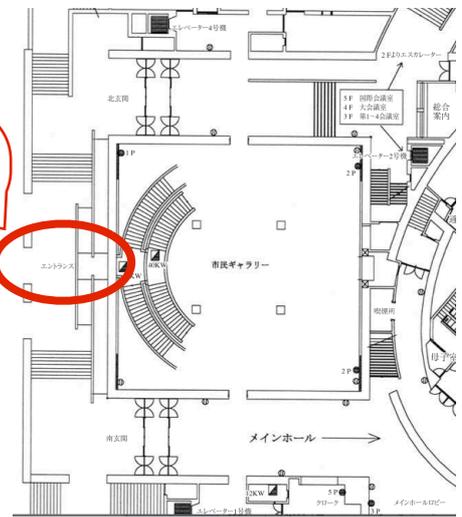
18:30 に1階のエントランスに集合してください。
お部屋は「葵の間」です。
名札をつけてきてください。

お帰りのバスは、都ホテル行きや、市内（柳ヶ瀬経由）行きがあります。乗れなかった方は、都ホテルに戻るバスをお待ちください。

<十八楼>

<http://www.18rou.com/profile/access.html>

**1F エントランス
18:30 集合**



会場周辺地図とランチマップ



交通アクセス

長良川国際会議場への交通アクセスです。
バス、鉄道、車情報へのリンクがあります。
<http://www.g-ncc.jp/r-access.html>



タクシー情報はこちらです。

<http://www.taxisite.com/city/info/21/201.aspx>



最新情報について

SS2013の最新情報は、随時Webページに掲載いたします。公式ページの「新着情報」をご覧ください。
<http://sea.jp/ss2013/news.html>



公益財団法人岐阜観光コンベンション協会さまには、シンポジウムの開催に多大なご支援をいただいております。ご協力に感謝いたします。
<http://www.gifucvb.or.jp/>

